



④はじめて小学校で行われたアウトリーチの様子。中川賢一さんが弾くピアノの上にピンポン玉を乗せると……飛び跳ねる！⑤プロの奏者と鍵盤ハーモニカを演奏し共演。⑥（AR対応）昨年、町内全小学5年生を対象に行われたアウトリーチに出演した世界で活躍するカウンタテナーの彌勒忠史さん。⑦（AR対応）今年の小学校を対象としたアウトリーチはWoodpeckersの4人。普段使っている机やスプーンを楽器に変えて子どもたちに演奏を披露。身近なものを使い音を楽しむことを伝えた。



▶ interview

### 三芳町のこうした取り組みは心強い

音楽家として、こうした感受性豊かな時期にプロと身近に触れ合える機会がある三芳町の取り組みは心強いです。音楽を聴くだけでなく、関わるともっともっと音楽が好きになるはず。今後もこうした取り組みをぜひ続けていってほしいと思います。

ウッドペッカーズ  
**Woodpeckers**  
▶ About us  
三矢真之、吉野智子、北川友里、新野将之の4人グループ。音楽鑑賞教室や年に3度の単独コンサートなど、さまざまなイベントに出演。2013年、新たなメンバーを迎え「Woodpeckers」として活動を開始している。

「コピスみよしの事業の中で、特に力を入れているのがアウトリーチです。アウトリーチとは『手を伸ばす』という意味があり、文化会館が住民との新しい出会いを求め、芸術を身近に感じてもらうための活動です。三芳町では町内の全小学5年生、中学1年生を対象に行われています。

この活動は開館2年目から行なわれ、小学校のアウトリーチでは、大人数で鑑賞できる体育館ではなく、あえて音楽室で5年生を対象に実施しています。

なぜそうするのか。それは、プロのアーティストによる本物の歌や楽器演奏の迫力を、まさに『手の届く距離』で、感受性豊かな子どもたちが体験することで、笑顔（「心の豊かさ」）につながっていくからです。また、アーティストと一緒に楽器演奏や歌う機会も用意し、仲間と力を合わせて、一つのことをやり遂げる喜びを知ってもらいます。これらの経験は、子どもたちの今後の人間形成に、良い影響を与えることになるはず。

一方、中学校アウトリーチでは、コピスみよしのホールに町内3中学校の1年生を集めて実施しています。コンサートの雰囲気を生で体験するため、劇場の受付係を配置したり、プログラムを配布するなど実際のコンサートと同じ環境で生徒をもてなします。これは、大人への第一歩に向けた社会的マナーを学ぶことを目的としているからです。また、国内トップクラスのアーティストが実演だけでなく、プロになるまでの道のりや体験談、アナリーゼ（楽曲分析）を語るなど、音楽の授業では学ぶことのできない知識を得る機会にもなっています。

特集 芸術文化のまちづくり



2月6日休日にコピスみよしで、町内全3中学校の1年生を対象に行われたアウトリーチで配布されたプログラム。細かいところまで気を配り、実際のコンサートと同じ環境を生徒たちに味わってもらおう。

一流がそこにいる。一流と触れ合える。

# アウトリーチ

町がめざす「芸術文化のまちづくり」のためには小さなころから一流の芸術文化に触れることが必要です。

## ♪ アウトリーチとは

手を伸ばすこと、手を伸ばした距離、(地域社会への) 奉仕・福祉活動、(公的機関や奉仕団体の) 現場出張サービスという意味や、芸術文化に触れることの少ない住民や学校・地域に対して行う芸術振興活動を指すこともあります。小さいころから一流の芸術に触れることで、音楽に興味を持ち将来の育成につながることも期待できます。



①昨年5年ぶりにコピスみよしで行われた中学生を対象としたアウトリーチの一コマ。日本を代表するピアニスト仲道郁代さんと生徒。この写真は、生徒にピアノの鍵盤をたたいてもらい、その『音』がどこに行ったのかを追っている様子。音を通じて創造力も養う。②③（AR対応）2月6日に町内全3中学校の1年生を対象に行われたアウトリーチに出演したバンドネオン奏者三浦一馬さんとピアニスト長富彩さん。テレビ出演するなど幅広い活動をしている。二人とも世界で活躍する一流の奏者。

